

● 不気味に光り続けるカギをみつめるみさき
● ーそうだ、私の家の庭にもあるあのドアー
● みさきは、カギを持って自分の庭のドアの前
● に立った。カギをさしてみた。 入った！
● 「ガチャ」カギを回して、ドアをおそろおそ
● る開けてみた。
● すると、ドアから真っ黒な空気がぶわっと出
● てきて、みさきをつつみこむ。
● その空気の中から黒い手が出てきて、みさき
● をつかむ。
● 「きゃ！」
● みさきは、ドアの中へとひきずられた。
● みさきをつかんだ手の主はぎやくに、ドアか
● ら出て、みさきたちのいる世界に入ると、ド
● アを強くしめた。
● ドアをしめられる前、みさきはたしかに見た
● その全身黒い生き物は、真っ黒であるが、
● みさきにそっくりであることを。
● みさきはドアを開けようとしたが、ドアは開
● かない。カギがかかっているようである。
● 周りを見わたすと、そこはみさきのいた世界
● にそっくりであるが、全てが真っ黒であった
● 家も、そこにいる生き物も、人間も。
● 色を持っているのは、自分だけであつた。
● みさきはこわくなり、とりあえず、自分の家
● らしき黒い家に入ることにした。

問
い
1
みさきが開けたドアから出てきたのは

真っ黒な空気と黒い（

問
い
2
みさきが入った世界は、全てが

（
な世界